

東広島市立高屋西小学校  
Team Takayanishi  
〒739-2125  
東広島市高屋町中島 582 番地  
電話:082-434-0003 FAX:082-434-0030  
e-mail: takayanishi-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

11月20日に、組曲「白鳥」の特別公演を行いました。今年度は、6年生児童が案内のポスターを作成し、100名以上の地域や保護者の方に来校いただき、高屋西の伝統である組曲を披露することができました。公演後に多くの方からメッセージをいただきました。心のこもった言葉から児童は力をいただきました。次にいくつかを紹介します。  
○とても感動いたしました。来場してよかったです。これほどのステージを作り上げる子供たちの努力と先生方のご指導に拍手を送りたいと思います。よい思い出になりました。  
○とても素晴らしかった。みんなの気持ちが一つになった合奏だった。感動しました。

## 校内持久走大会



今年も多くの方々にご支援・ご協力をいただき無事終えることができます。ありがとうございました。良い年をお迎えください。

### 〈なんでもうだんしてみよう〉

校内に「相談窓口」を設置しています。相談を希望される場合には、教頭までご連絡ください。

連絡先：高屋西小学校 082(434)0003

### 【学校教育目標】

より確かに より豊かに よりたくましく 伸びる ～新たな未来へ～  
Team Takayanishi Let's try!

### 嘉登屋記念事業団より図書の寄贈

公益財団法人 嘉登屋記念事業団は、昭和50年に設立された財団で、東広島市内における教育機関に対し援助・助成することにより、教育の充実・振興及び住民福祉の向上を図り、地域社会の発展に寄与することを目的として行っておられます。今年度も、市内の小学校の19校に対して図書2602冊を、本校には139冊を寄贈してくださいました。様々な場で活用させていただきます。ありがとうございました。



## 餅つき会

11月中旬から下旬にかけてインフルエンザが流行し、校内持久走大会や餅つき会を実施できるかずいぶん心配をしました。校内持久走大会は1週間延期して、餅つき会は計画通り実施することができました。どちらの行事にも多くの保護者や地域の方に来校いただき、応援や支援をいただきましたこと心から感謝いたします。持久走大会では、東洋道の付近の地域の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

### 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月に6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。この調査は、毎年実施されているもので、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で、全国一斉に実施されています。本校の結果は次の通りです。

〈学力結果〉各教科の平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
高屋西小	74	66	67
東広島市	70	60	61
広島県	69	59	59
全国	66.8	58	57.1

〈児童質問紙結果〉

質問項目	肯定的回答率 (%)
自分には、よいところがあると思いますか。	89.1
将来の夢や目標をもっていますか。	86.3
地域や社会をよくするために何かしてみたいですか。	87.3
読書は好きですか。	71.8
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方につなげたりすることができます。	89.1
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。	90.0

### 学校評価表中間評価について

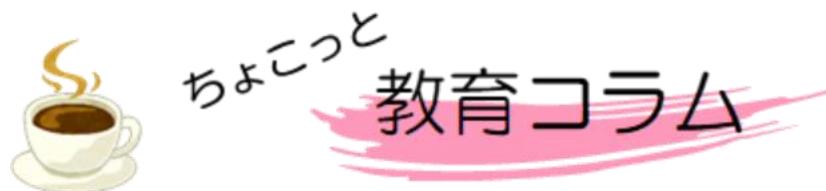
11月に行った学校運営協議会において、上半期の学校評価について協議を行いました。項目毎の評価と改善点を明らかにし、HPに掲載しました。ご覧ください。後期の充実した教育活動につなげていきます。今後も、本校学校教育へのご理解・ご協力を願いいたします。



HOT

### ほっとたいむ

12月4日朝、グラウンドに今シーズン初めての雪が降りました。グラウンドには雪は積もっていませんでしたが、子供たちは歓声を上げながら日陰などに積もっている雪を嬉しそうに触っていました。美しかった紅葉も葉を落とし、朝夕の寒さも厳しさを増しています。本格的な冬の到来です。



## 小学生の金銭教育

もうすぐお正月ですね。子どもたちにとって「お年玉」を期待してワクワクする時だと思います。

今回はそのお年玉について考えていきたいと思います。

まず、「お年玉」の由来についてです。

お年玉の語源は、お正月の神様である「歳神様」を迎えるために供えた丸餅（鏡餅）に、歳神様が魂を込めて帰られることから、一年の最初に賜るものとして「年の賜物（たまもの）」と呼んだことが由来とされています。この餅を食べるための料理が「お雑煮」で、餅を食べることで体に魂を取り込みました。お年玉の習慣が始まったのは室町時代で、お餅ではなく品物や金品を渡すこともあり、武士ならば太刀、商人ならば扇子など、年始の贈り物を「お年玉」と称するようになりました。現在のようなお金を贈る文化が浸透したのは、昭和の高度経済成長期頃からと言われています。団塊の世代が生まれて家族数が増えたことや、都市部の世帯数が増えたことによって、それぞれの家庭で餅をついて歳神様へ供えること自体が徐々に減少し、手軽に準備できるお金に変わっていきました。

(パナソニックEW 友の会HP 「お年玉の始まりは！？」より)

さて、お年玉がもらえるこの時期は、お金について考えるいい機会ではないでしょうか？

話に聞いたのですが、ある子どもは、ATM から親がお金を出しているのを見て、ATM に行けばお金はいくらでも出てくると勘違いしていたそうです。

自分たちが使っているお金は、大人たちが社会のために一生懸命働いて稼いだお金であることをしっかりと理解させ、大事にする意識を身につけさせる必要があります。そのうえでどのように管理していくか、一緒に考えるいい機会となります。

お金の管理方法として、「4つの貯金箱」という考えがあるそうです。



## 「4つの貯金箱」でお金を管理する

貯めるお金	少ないおこづかいでもコツコツ貯めると大きな金額になります。将来のため、いざというときのため、大きな買い物をするためにも貯金をすることは大切です。
使うお金	お菓子や飲み物、おもちゃ、文房具など、自分の欲しいものや必要なものを買うお金です。やみくもに使うのではなく、「ニーズとウォンツ」を意識して使うようにしましょう。
人のために使うお金	社会は支え合いで成り立っています。自分も社会の一員であることを学ぶため、家族や友人へプレゼントをして日ごろの感謝を伝えたり、寄付や募金などにお金を回したりしてみましょう。
増やすお金	お金を預けたり投資に回すと、増やすことができます。お年玉などまとまったお金をもらったときに、保護者が一定期間預かり、利息を付けて子どもに戻す方法も、仕組みを理解するのに役立ちます。

[https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/katei\\_education/edu002.html](https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/katei_education/edu002.html)

大切な「お金」。

よく考えて、大切に管理できる子どもたちになってほしいと思います。